

Syllabus Id	syl.-052487
Subject Id	sub-0520461
作成年月日	41118
授業科目名	ドイツ語 I A ( German IA )
担当教員名	A.H.パウマン
対象クラス	制御情報工学科4年生 / 物質工学科4年生
単位数	2高専単位
必修 / 選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	物質工学科棟1FS4HR / 物質工学科棟3FC4HR

### 授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

本講義は、「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能に基づくドイツ語入門である。学生には、毎年11月に実施されるドイツ語検定試験において、最低でも4級が取得できるようドイツ語力向上に努力してもらう。主な学習課題はヒアリングと口頭練習であるが、最終的には「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能の基礎を固める。また、未知の言語であるドイツ語を学ぶことによって英語への理解を深めることも本講義のねらいである。

### 準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

英語

学習・教育目標	Weight	目標
		A
	B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	D	国際的な受信・発信能力の養成
	E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D: コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力		

### 学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

### 授業目標

今日の資格社会に適應するよう、外国語分野での資格取得とその動機づけ。語学力の向上とあわせ、ドイツにおける政治、経済、一般的Landeskundeの知識が習得できることを目標とする。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回		プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第2回	ドイツ語と英語の比較、ヨーロッパ地図を用いてのドイツ語圏の説明		
第3回	教材第1課 アルファベット発音、発音		
第4回	1課 Erste Kontakte、挨拶		
第5回	1課 人称代名詞と動詞の規則的変		
第6回	1課 冠詞と名詞、命令形(Sie)		

第7回	1課 疑問文、数字の読み方(100)		
第8回	練習問題集 試験対策		
第9回	前期中間試験		×
第10回	2課 Gegenst nde im Haus, 定冠詞・不定冠詞、否定文		
第11回	2課 所有代名詞、数字の読み方(1000まで)		
第12回	3課 Essen und Trinken, 4格(目的語)の冠詞変化、型動詞		
第13回			
第14回	練習問題 試験対策		
第15回	前期末試験		×
第16回		プログラムの学習 教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明	
第17回	4課 Freizeit, 分離動詞、非分離動		
第18回	4課 助動詞 k nnen, m ssen, d rfen, wollen, sollen、時刻の読み方		
第19回	5課 wohnen、指示代名詞		
第20回	5課 不定代名詞		
第21回	6課 Krankheit, 命令形(du, ihr)		
第22回	6課 現在完了形(構造と例文)		
第23回	練習問題 試験対策		
第24回	後期中間試験		×
第25回	7課 Alltag, 過去分詞の3基本形、不規則変化動詞		
第26回	7課 過去分詞にge-のない動詞、人称代名詞の4格		
第27回	8課 Orientierung in der Stadt, 前置詞の格支配		
第28回	8課 前置詞の3・4格の支配、前置詞と定冠詞の融合形		
第29回	練習問題 試験対策		
第30回	後期末試験		×

### 課題

特になし

オフィスアワー: 月曜日12時～13時(非常勤講師室)

### 評価方法と基準

評価方法:

評価基準:

定期試験の平均成績80%、授業への積極的姿勢を20%として評価する。60%以上を合格とする。

教科書等	Themen neu 1, Kursbuch
先修科目	英語
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	同じ授業をしているのにクラスによって理解度が異なる。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。





















































